

## 式 辞

調布市立第六中学校創立50周年という節目に、長友貴樹 調布市長はじめ、たくさんのご来賓の皆様にお越しいただき、共にこの日を迎えられることに、心から感謝申し上げます。

1974年・昭和49年に開校した第六中学校は、地域・保護者の皆様の温かいご支援のもと常に時代の変化に応じて発展してまいりました。

特に40周年からのこの10年間には、東日本大震災の教訓を活かした防災教育、GIGA スクール構想、新型コロナによる新しい学校生活が始まり、歴代の校長先生方はじめ教職員の並々ならぬ努力がありました。

それらが落ち着き始めた昨年度、私が就任して感じたことは、六中の理念は多くの方が大切に受け継ぎ守ってきたものである、ということです。

本校の校歌には「常に理想の道を目指す」とあります。六中らしい素敵な歌詞です。今世界は、温暖化による自然災害、新たな感染症、終わりの見えない戦争など、解決の困難な課題をいくつも抱えています。

地球に生きる者として、改めて世界的な視野をもつことの重要性を誰もが感じていることと思います。そしてこれからの時代を生きていく生徒の皆さんは、これらの問題に否が応でも向き合っていかなければなりません。

となれば私たち教師は、そんな生徒の未来に生きる力を育まなければなりません。

六中は現在、徹底した人権尊重の精神のもと、インクルーシブ教育、キャリア教育に重点を置き、誰もがその性質や能力などであきらめる必要のない教育活動に取り組んでいます。

また、今年度から「まなびの森で創る 未来につながる授業」をテーマに、調布市教育推進校としての研究を進めています。

多様性が尊重され、様々な学びの仕掛けや学びの在り方が存在する、六中まなびの森で、六中生が「本当の幸せとは何か」を追及して理想を描き、他者と共に生きていくための希望と勇気をもつことができたなら、私たち教職員にとって最高の喜びです。

第六中学校はこれからも、地域・保護者の皆様のご理解・ご協力をいただきながら、豊かな学びのあふれる学校として生徒・教職員共に邁進してまいります。

結びに、本校教育活動を支えてくださっているすべての皆様に感謝を申し上げ、私の式辞といたします。

令和6年10月4日

調布市立第六中学校 校長 佐伯 あつ子